

市野新田ダム環境保全委員会を開催！

柏崎周辺農業水利事業所

8月30日（火）、市野新田ダム建設予定地の柏崎市女谷地域にある綾子舞会館において、平成23年度市野新田ダム環境保全委員会を開催しました。

市野新田ダム環境保全委員会は、市野新田ダム集水域における貴重動植物の移植の必要性及び保全方法等の検討を行うため、有識者（5名）、地元代表者（4名）、柏崎市担当者（2名）及び当事業所長を委員とする12名で構成されています。

今年度の委員会は、10月以降にダム貯水池内から移植を行うにあたり、移植地として選定した綾子舞会館前の池の具体的な整備方法及び移植計画について議論を行うことを目的として、開催しました。

委員会は冒頭、河津所長から「日頃の国営事業の推進にかかる協力へのお礼と次年度の市野新田ダム本体着手予定を控え、昨年度の委員会において策定された環境保全整備計画に則り、市野新田ダム関連工事が環境との調和に配慮して確実に進められることを目指して、忌憚のない議論をお願いしたい。」との挨拶から始まり、昨年度に引き続き、相澤委員長（前柏崎市教育長・柏崎植物友の会会長）の進行のもと議事が進められました。

委員会では移植地の具体的な整備・移植計画の説明が行われた後、現地調査が行われ、委員からは「豪雪地域であるため、移植した植物は問題ないのか。」、「想定より移植地が小さいため、可能な限り大きくした方が良い。」と言った意見が聞かれたとともに、維持管理についても活発な議論が交わされ、今年度の整備方法・移植計画については概ね了承されました。

また、委員会では「地元集落に既にある不動滝等の地域資源との散策ルートの設定」や「貴重植物を紹介する看板の設置」等、今後に関わる提案がなされ、引き続き検討していくこととしています。

今後は、委員会での意見を踏まえて、地域との協働による移植活動を行うため、地元調整を図っていくこととしています。



環境保全委員会開催状況



現地調査状況